

福 井 県 医 師 会

だより

第665号 平成28年(2016)11月



晩秋 福井市 石黒 信彦

表紙写真説明：晩秋

福井市 石黒 信彦

白山には幾筋もの登山道があるが、紅葉が一番きれいなのは地獄谷と大白水谷に挟まれた平瀬道である。しかし、山の紅葉は素早く、一瞬の間に過ぎ去っていく。今回の山行きでは紅葉は終わっていたが、落葉した白いダケカンバの幹が印象的だった。

## 醫 縫 録

### 就任のご挨拶

福井大学医学部外科学（1）教授 五 井 孝 憲



この度、平成28年4月1日付けをもちまして、福井大学器官制御医学講座外科学（1）教室の教授を拝命致しました五井 孝憲と申します。福井県医師会の皆様に、謹んで御挨拶を申し上げます。本教室は1983年10月に初代教授中川原儀三先生の下、開講され、医師育成のための医学生の教育ならびに福井県の医療を支えることを目標として歩み始めました。1998年7月からは二代教授山口明夫先生が教室を主宰され、教室員は厚いご指導を賜って参りました。本年にて当教室は開講37年を迎えることとなりますが、これまでに当教室に所属された医局員は計111名であり、伝統ある本教室の一員として引き続き奉職させて頂くことになり、その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

私は敦賀市の出身で大学生時代に福井県の医療に携わることが希望し、平成元年に福井医科大学（現 福井大学）第一外科（消化器外科・乳腺内分泌外科）に入局致しました。入局後は大学病院や関連病院において研修を行い、1997年には米国タフツ大学生化学教室(Larry Feig 教授：Ras dominant negative の解明者)に留学し、細胞のシグナル伝達についての研究を致しました。1999年に帰国し、2005年より助教兼外来医長、2007年から講師兼病棟医長、2015年から准教授、本年4月より現職に至りました。

外科学（1）教室において主に診療にあたっている分野は上部消化管部門、下部消化管部門、肝胆膵部門、乳腺内分泌部門であり、良性疾患から悪性疾患まで完全な治癒が達せられるように手術をおこなっています。治療成績は全ての疾患において全国平均レベルを優に超える、全国トップクラスの結果が得られております。これらの成果は中川原教授、山口教授が私どもに

ご指導いただいた手術技術・診療術によるものであり、患者さん一人一人をよく診て、考え、最高の治療を積み重ねた地道な努力の結果でもあります。現在では専門医、指導医、技術認定医が続々と育っており、この良き伝統をしっかりと受け継ぎ、治療や若手医師の指導を行って参ります。しかし手術手技など、どれほど医学が進歩し、最新の手術を持ってしても、すべての疾患を治癒させることはできない現実があります。医療が進歩するために、臨床、研究、教育など様々な面において改良点に気付く鋭い洞察力と、それを解決するための方法論を導く論理的な思考力、熱意を持った研究者であるとともに臨床医として人格、知力、技術力にバランスのとれた外科医の養成に全力を傾けたいと思っております。その努力を確実に実らせて福井から日本、世界に発信できるように全力を注いでいく次第です。また、最近外科医を志す女性医師が増えております。福井県は全国でも共働き率が高く、教室自体が女性医師の就労に関し、世代に応じて柔軟に対応するシステムを構築していきたいとも考えております。

最後になりましたが、今後も福井県内の医院／病院との連携を綿密に保ちながら地域医療を大切にすると共に患者さんの気持ちを理解し、様々な疾患に迅速に対応していきたいと思っております。消化器外科疾患、乳腺疾患など、お困りなことがございましたらいつでもご相談下さい。これからも何卒よろしくお願ひ申し上げます。以上、簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。